



東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート  
**スポーツ祭東京2013**  
第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会



## 「社会を明るくする運動」と子供達の参加

副会長（多摩分区長）伊野 光雄



四季の中でも春ほど多くの方が、待ち望んでいる季節はありません。動植物が眠りから覚め勢いづく季節です。春の息吹のように活気ある世相になって欲しいものです。

本年4月下旬、平成25年度「第63回社会を明るくする運動」の東京都推進委員会が開催され、活動がスタートします。

7月の強化月間で地域ごとに特色ある事業が展開され、多摩分区では第23回啓発パレードを予定しております。永年に渡る諸先輩方の関係機関へのパレード参加呼びかけが功を奏してきたのでしょう。年々参加者が増えまさに伝統行事の域に達しています。中でも数年前より、次代を担う子供達（小中学生）の

参加を図るため、より強固な学校との連携強化を求め、教育関係者に働きかけを強めて参りました。その効果もあって徐々に参加校数、生徒数が増えてまいりました。

当分区では学校担当保護司を設置し、いろいろな形で連携が取れるよう配慮しております。被害者、加害者を出さない環境づくりも私たちの大きな任務です。犯罪や非行が生まれるのは地域社会であり、改善更生を促すのも地域社会です。再犯を防ぎ非行をなくし、更生を確かなものとするのは本人自身の意欲は無論のこと、地域社会が受け入れ、立ち直りを支えていく事が不可欠です。啓発パレードは地域住民の連携を強め地域の犯罪や非行を抑止する見地から、誰もが参加出来る体制をとっています。今後共ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

## 法務大臣表彰を受賞して

日野分区 安西 清

保護司を拝命して22年、このたびの受賞となりました。ゼロからの出発も先輩諸氏のご指導、研修や経験から、意義・重要性を認識し理解して今日まで続けてくることができました。活動をとおして世間を広げられたこと、更なるボランティア活動の基となったことが今の充実した毎日につながっていると確信しています。

これからも健康に留意し、会の発展に少しでもお役にたてればと考えております。



平成24年度

## 東京更生保護事業 関係者顕彰式典

日 時：平成24年11月20日（火）

会 場：新宿区立新宿文化センター

受賞者：19名【日野・多摩・稲城地区】

\* 法務大臣表彰 安西 清

\* 全国保護司連盟理事長表彰 粟井 洋子

\* 関東地方更生保護委員会委員長表彰

芦川 正雄・佐伯 進・松原 一郎  
松本ちづ子・紀 初子

\* 関東地方保護司連盟会長表彰

會田 洋子

\* 東京保護観察所長表彰

尾崎 義昭・門井八重子・坂井 厚彦

\* 東京保護観察所長感謝状<家族功労者>

粟井 邦昌（粟井洋子氏の夫）

\* 東京都保護司会連合会会长表彰

石川ちづ子・角田 政信・塩沢 京子  
戸丸 久恵

\* 日本更生保護女性連盟会長表彰

川瀬美代子

\* 東京保護観察所長感謝状(更生保護女性会)

閔戸 良

\* 東京更生保護女性連盟会長表彰

黒川 朋子

平成24年度

## 多摩連受彰祝賀会を開催

平成24年12月7日（金）立川グランドホテルに於いて、平成24年度多摩地区保護司会連絡協議会受彰祝賀会が開催されました。

今年の東京保護観察所立川支部管内の受彰者は、叙勲7名・褒章3名・法務大臣表彰16名・全国保護司連盟理事長表彰20名で、計46名でした。

祝賀会当日は、受彰者36名とご来賓、多摩連理事等、総勢110名が集い、賑やかな会となりました。当地区保護司会の受彰者は安西清氏（法務大臣表彰）と粟井洋子氏（全国保護司連盟理事長表彰）で、お二人揃って参加され出席者の皆さんから祝福を受けました。



受賞者を囲んで

## 第62回“社会を明るくする運動”

### 民間協力者に対する感謝状

受彰者芳名簿

\* 法務大臣感謝状

多摩市・多摩市立聖ヶ丘小学校

\* 東京都推進委員会委員長感謝状

多摩市・多摩市立多摩中学校

稻城市・東京ヴェルディ1969フットボールクラブ株式会社

\* 東京保護観察所長感謝状

日野市・日野市七生中地区青少年育成会

多摩市・青少年問題協議会落合地区委員会

青少年問題協議会豊ヶ丘地区委員会

多摩市立青陵中学校

多摩市立多摩永山中学校

多摩市立鶴牧中学校

稻城市・株式会社 読売新聞 東京支社

株式会社 読売巨人軍

株式会社 よみうりランド

\* 作文コンテスト 佳作

日野市立日野第二小学校5年 鷺崎 恭

日野市立日野第二小学校5年 梅田 悠平

## 専門部の活動

### 研修部

部長 松原 一郎

24年度の地域別定例研修は次の通り3回行なわれ、研鑽を重ねました。

#### ○第Ⅰ期地域別定例研修 平成24年6月13日(水)

テーマ：「面接」

会場：サポートセンター百草台

出席者 56名 補講11名

面接の意義や目的を再確認し、留意点や危険防止のために気をつけたい事を学びました。また、プログラム処遇に取り入れられた認知行動療法のワークの中で観察官と一緒に考えながら面接についての理解を深めました。

#### ○第Ⅱ期地域別定例研修 平成24年10月17日(水)

テーマ：「家族関係者への働き掛け」

会場：サポートセンター百草台

出席者 56名 補講13名

この研修は、生活環境の中で家族関係の調整にポイントを絞り、担当保護司としての家族調整の進め方、特に家族へのかかわり方の基本姿勢について学びました。

#### ○第Ⅲ期地域別定例研修 平成25年2月13日(水)

テーマ：「薬物事犯対象者の処遇」

会場：稲城市地域振興プラザ4階

出席者 55名 補講10名

この研修では、「覚せい剤事犯者処遇プログラム」の内容を理解し、対象者への処遇上注意すべき点について再確認しました。



講師の宇田主任観察官

研修部の主な活動としては、年3回の地域別定例研修を開催しています。保護司としての知識向上の為に有意義な研修です。

今後とも皆様のご参加をお願い申し上げます。

### 地域活動部

部長 紀 初子

今年度の地域活動推進協議会は、社会参加活動の認識を高め、活動内容の充実を図ることを目的に開催しました。

月 日：平成24年11月12日（月）

時 間：午後2時～4時

テマ：「これから社会参加活動」

場 所：百草台コミュニティセンター

参加者：施設1名、観察官1名、更女5名、保護司45名 計52名

社会参加活動の実施要領と過去3年間の実績を説明した後、登録施設の「夢ふうせん」の安西清理事長と「啓光学園」の紫藤勇市統括支援部長から施設の説明や受け入れの現状等についてお話をいただきました。また対象者を社会参加活動に参加させたことのある寺沼恭子、澤田研二、土谷縷美保護司から発表があり、観察官から総括がありました。

講師の安西氏(左)と  
紫藤氏

いろいろな立場からの発表で、「改めて社会参加活動を認識した」「勉強になった」との感想がありました。

参加した対象者は「参加して良かった」との感想が多く良い体験になっているようです。

今後の課題として、登録団体との連携強化、情報の発信と併せて新たな団体の発掘も必要であると思います。

### 社会参加活動実施結果報告

期日	施設名	対象者	保護司	観察所	活動内容
6月14日	京王稲城駅南側ロータリー	1人	12人	1人	ボランティア1人 稲城市職員8人 ロータリー壁面の植物の剪定
6月23日	日野市百草台コミュニティセンター	1人	14人	1人	花壇の草取り・植栽 校門付近の草取り・剪定
12月8日	日野市百草台コミュニティセンター	1人	15人	1人	日野警察スクールサポーター2人 花壇の草取り・植栽・植木の剪定
25年2月28日	夢ふうせん	1人	2人	1人	母親1人 施設の窓拭き
3月17日	心身障がい者青年教室	(0人) 当日キャンセル	3人	1人	障害者の介助

# サポートセンター百草台 “千客万来”

## ◆センターの運営方針・状況等を視察

平成25年2月4日(月) 北多摩西地区保護司会(森久保会長始め12名の保護司・国立市職員2名)がサポートセンターの視察に来られました。北多摩西地区では、昨年11月、国立市内の更生保護施設「八興社」内にサポートセンターを設立し、現在17名の企画調整保護



25.2.4 北多摩西地区保護司会

司が委嘱されています。森久保会長は、「まだ電話が設置されたばかりで、本格的な活動はこれから。サポートセンター既設地区である西多摩、八王子、当地区のセンターを視察し、今後の運営の参考にしたい」と話されていました。当地区からは、センターの運営方針・状況、施設の概要、利用実績等の説明を行い、その後センターの見学をしました。

## 新春の集い開催

平成25年1月9日(水)京王プラザホテル多摩「アポロ」にて来賓9名、名誉会員6名、会員56名が出席し、「平成25年新春の集い」が開催されました。

第1部は、主催者を代表して佐伯会長より新年を迎えるにあたっての力強いご挨拶がありました。来賓からは、古田東観立川支部長、森久保多摩連会長、三市の馬場日野市長、阿部多摩市長、高橋稲城市長よりご祝辞を頂きました。

引き続き、平成24年度被顕彰者16名が紹介され、法務大臣表彰受賞者の安西清氏より受賞者を代表してお礼の言葉があり、分区毎に記念撮影が行われました。

第2部は、八木更生保護女性会会長の挨拶で始まりました。新任保護司の紹介後、名誉会員と現役保護司との和やかな親睦の輪が広がりました。恒例となりました土方副会長ご提供の鉢花が賞品のビンゴや、有志による歌の披露で盛り上がり、楽しいひとときを過ごすうちに閉会となりました。



佐伯会長(中央) ご来賓古田支部長(右)  
森久保多摩連会長(左)

## 更生保護女性会の活動

### 社明運動にも積極的に参加

会長 八木チズ子

当地区は理事会を2ヶ月に一回開催しています。東京更生保護女性連盟からの報告等を行ない、また各部(援護部・研修部・広報部)からなり、施設訪問等を行なっています。特に援護部は主に多摩少年院との係わりがあり、23・24年度に雑巾約200枚などを届けました。成人式典・管内剣道大会・盆踊り・運動会等に会員の方々が極力参加する様心掛けております。

当地区3分区がそれぞれ特色を持ち活動しています。日野分区は社明運動に参加、生徒達に心の糧となることを思いつつ、手作りグッズを配布しています。多摩分区も同様にパレードに多くの会員が参加しています。稻城分区は駅頭でグッズを早朝配布しています。更女組織については、日本更生保護女性連盟(全国50地区に分かれ会員数約19万人)、東京更生保護女性会は都内会員数約13,500人です。全体を7ブロックに分け、当地区は第6ブロック(当地区的他に八王子、町田、西多摩)です。

## 新任保護司紹介

ご活躍を期待します

平成24年12月22日委嘱

### 保護司になって



**津守 範学**  
多摩分区  
(研修部)

昨年12月に辞令を頂戴し、このたび保護司をさせて頂くことになりました。新任研修会におきまして諸先生方のお話を伺いし、改めて保護司の姿勢と責務の重さを痛感しておりますが、良い緊張感のもと決意を新たに努力精進して参る所存です。

今後とも御指導賜りますようお願い申し上げます。

## 保護司候補者検討協議会

保護司候補者検討協議会は、保護司活動に対する地域の理解を深めるとともに、地域の幅広い人材から保護司の候補者を確保することにあります。また、保護司候補者の推薦について透明化を図るためでもあります。

協議会の役割としては、日野・多摩・稲城地区の保護司候補者を広く求めるために必要な情報の収集及び交換の場です。その構成は、保護司、自治会等関係者、民生児童委員、社会福祉事業関係者、保健・医療関係者、青少年育成団体関係者、自治体関係者等です。

当地区での協議会は、今年で4年目になります。今年度も計6回の検討協議会を開催しました。具体的な候補者は11件も寄せられ、皆様のご協力に感謝しています。その中で、保護司に委嘱されたケースは4件で、既に地域で活動を開始しています。

「ここ10年で新任保護司が最少」などという新聞記事が掲載されていますが、検討協議会の方々による地域の力で保護司の確保が着実に進められています。

## 平成25年度定期総会のお知らせ

期 日 平成25年4月22日（月）  
時 間 午後2時より  
場 所 サポートセンター百草台

## FAX専用回線設置のお知らせ

平成25年1月10日（木）より、下記FAX専用の回線が増設されました。

**FAX専用：042-505-5474**

従来の番号は電話専用となり、FAX送信はできません。

## 平成24年度 多摩連保護司 自主研修会を開催

月 日：平成25年2月7日（木）

場 所：東京保護観察所立川支部会議室

テーマ：「詩が開いた心の扉」

講 師：寮 美千子氏（作家）

平成24年度研修会として、「詩が開いた心の扉」と題した講演会を催しました。講師の寮先生は作家であり、奈良少年刑務所で社会性を涵養（水が自然にしみこむように少しづつ養い育てる）するプログラムの講師を務めています。

### 心を閉ざした少年達が作った詩

童話と詩を中心とした「物語の教室」を実施し、心を閉ざしがちだった少年刑務所の少年達が作った詩を出版し、反響を呼びました。講演では、詩を作っていく中で心を開き変わっていく少年達の姿が克明に語られ、その内容は感動的で、多くの参加者の涙を誘いました。

### 詩については否定せず共感点を

「社会性涵養プログラム」を受けるのは少年刑務所の中でも特に人との関わりが苦手で極端に内気で自己表現ができずに心を閉ざした少年達10人程（一期半年）ですが、グループワークでそれぞれの作った詩について意見を交わす時、そこでは誰一人として否定的なことは言わず、共感できるところを見つけようとして耳を澄ますのだそうです。そんな中で作られる数行の言葉が、人と人をつなぎ、人を変え、心が育てられるのだそうです。

### 空が青いから白をえらんだのです

寮先生の朗読された詩は研修参加者の心に沁み入り、言葉の力に驚かされ、人は変わることを確信させられ続けた2時間でした。

空が青いから白をえらんだのです～この一行の詩に込められた本人の思い、そしてその詩を介してつながる仲間たちの心を、ぜひ詩集を読んで感じてください。

「空が青いから白をえらんだのです」新潮文庫

# 情報BOX

## 日野・多摩・稲城地区管内の動向

東京保護観察所立川支部 主任観察官 宇田紀之

### ●平成24年の犯罪動向

平成24年版の犯罪白書によれば、刑法犯の過半数を占める窃盗を中心に自動車運転過失致死傷、器物損壊、横領、詐欺等の認知件数は減少傾向にあるが、依然として214万件ほどの事件が発生しており、高い水準にある。刑法犯以外の条例違反を含んだ道交法違反、軽犯罪法違反など特別法犯の検察庁新規受理人員も刑法犯同様に減少傾向にあるが、道交法違反を除いた特別法犯の4分の1を占める薬物依存によるものは、微増傾向にある。

### ●少年非行の動向

14歳未満の触法少年を含む刑法犯の検挙人員は、平成16年から毎年低下し、11万6千人（前年比8.7%減）ほどであった。罪名では、自動車運転過失致死傷を除くと、窃盗及び横領の2罪で全体の8割ほど占めていた。一方、特別法犯の送致人員は、平成19年から増加を続け、8千人（前年比7.4%増）ほどとなっていた。増加の原因は、軽犯罪法違反の増加や中学校内での校内暴力の増加が認められた。

### ●各市における保護観察等係属性件数の動向

日野・多摩・稲城地区管内での係属性件数は、表1及び表2のとおりほぼ前年並みの件数が維持されていた。

保護観察事件数の推移を詳細に見ると、稻城市では横ばいの状況にあり、その内容も前年と比較して極端な変動は見られなかった。一方、日野市は減少傾向にあったが、多摩市はここ数年の増加傾向からひとつの波が見ら

### 表紙写真の説明

**日野市** 日野市は今年開催される東京国体の競技のうち、空手、ホッケー、ボクシングの開催地となっています。昨年は、それぞれのリハーサル大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。今年は、空手が9月29日(日)～10月1日(火)に、ホッケーが10月2日(水)～6日(日)に、ボクシングが10月4日(金)～8日(火)に開催されますので、是非ご来場いただきたいと思います。

れるようになった。日野市の減少の原因は、少年事件の減少によるものであり、多摩市は逆に少年事件が増加し、日野市の減少分を多摩市の増加分により、全体の保護観察係属性件数は横ばいの状態となっていた。

### ●生活環境調整事件数の推移

稻城市では、刑事施設分が大半を占め、前年並みの状況で推移し、日野市では刑事施設分が、多摩市では少年院分が、それぞれ増加傾向を示していた。

表1 保護観察係属性件数（平成24年12月末現在）

	日野	多摩	稲城	合計
1号	18	11	6	35
2号	10	5	4	19
3号	5	4	0	9
4号	4	6	4	14
合計（24年末）	37	26	14	77
H23年末	39	22	14	75
H22年末	43	19	14	76
H21年末	42	29	15	86

表2 生活環境調整係属性件数（平成24年12月末現在）

	日野	多摩	稲城	合計
刑事施設	42	28	11	81
少年院	3	4	1	8
合計（24年末）	45	32	12	89
H23年末	44	33	11	88
H22年末	43	38	20	101
H21年末	40	37	10	87

### 編集後記

東日本大震災から2年が経ちました。

「遅々として復興が進まない」と言うのは易けれど、諸事情、諸問題が沢山あるのもまた事実。ここは問題をひとつずつクリアして、復興へ1日また1日と歩みを進めて行く以外に方法はないと思います。

広報部では、部員一同議論百出、皆様により読みやすい広報誌作りを目指して参りました。編集にあたりご寄稿いただいた皆様に感謝申し上げます。

日野市百草999番地 042-593-0950

FAX 042-506-5474

メールアドレス：vpocentormog@true.ocn.ne.jp

編集 広報部